

生徒授業新聞 後編

(2022.12.20発行)

日々の学校生活には、生徒の皆さん一人一人が主役となり、どんどん自分の可能性を広げるチャンスが詰まっています！

1. 小松島南中学校に出向いての生徒授業

12月12日(月)午後 小松島南中学校1年生4クラスに小松島高校2年生8名が数学・物理の内容につながる「重心」をテーマとした生徒授業(45分)に挑戦！

～小松島南中学校1年生 88人 の声～

■今日の授業は

長かった0% 短かった25% ちょうどよい75%

■授業の内容は

理解できた100% 理解できなかった 0%

■生徒授業は

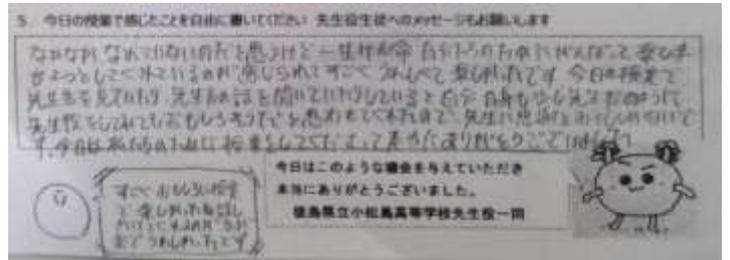
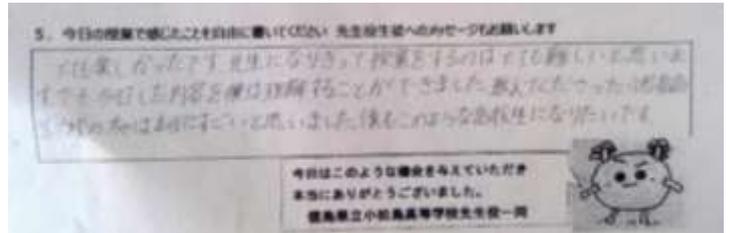
いいと思う100% よくないと思う 0%

■あなたも先生役に挑戦したい？

はい53% いいえ47%



小松島南中学生からのメッセージ



2. 小松島中学校で先生役を務めた生徒の声

◇授業時間はどうだった？

ちょうどよい4人 短い2人

その他1人(授業の時間はちょうどよかったけど、最後にもう少しだけ中学生と話す時間が欲しかった。)

◇先生役を務めてみた感想

(よかったところ)

- ・中学生が拍手してくれたりたくさん笑ってくれたりした。
- ・中学生がアンケートにたくさんコメントしてくれていた。
- ・時間配分が完璧だった。
- ・中学生から話しかけてくれてかわいいなと思ったし、マーカーやはさみを貸したときに中学生が「ありがとうございます」と言ってくれたのが嬉しくて元気をもらった。
- ・時間が過ぎるのがあっという間でした。

(反省点)

- ・全体を見渡すのが難しかった。
- ・作業が苦手な子を見つけることが難しかった。
- ・中学生と視線を合わすことができていなかった。
- ・中学生を上手にほめることができなかった。
- ・もっとハキハキしゃべったらよかった。
- ・中学生にもっと話しかければよかった。
- ・授業の中で準備が遅れた。

(小松島南中学校での生徒授業に向けての意気込み)

- ・弱気にならない。
- ・重心のすごさをしっかり伝える。
- ・具体的にほめる。
- ・もっと明るく、いっぱい話しかける。
- ・もっと一人一人と丁寧に向き合う。
- ・中学生から「授業を受けてよかった」というコメントをもらえる授業を目指す！

先生役を経験すると、新しい自分との出会いや伝えることの楽しさや難しさなどたくさん体感でき、自分の可能性を広げることにもつながります。準備から本番まで本当に充実した時間を過ごせましたね。お疲れ様でした！

3. 11月 校内で挑戦した生徒授業特集コーナー

1) 23HR 現代文「ころ」生徒授業の準備



2) 23HR 書道Ⅱ「漢字かな交じりの書 作品講評」生徒授業



3) 33HR 音楽Ⅲ「童謡」生徒授業



4) 21HR 現代文「ころ」生徒授業



5) 23HR 現代文「ころ」生徒授業



6) 34・35HR 理系生徒が11HR 数学Ⅰ「二次方程式・二次不等式」期末考査対策授業



4. 生徒授業を経験した生徒の声

事前の準備も含めて授業を行う上で工夫したところはどこですか。

- ・分からない言葉や難しい単語や言葉は調べながら読み進めて理解を深めた。
- ・自分(発表者)たちが理解するだけでなく、皆に理解してもらうために言葉と意味を模造紙に書き出して黒板に貼って授業を行った。
- ・パワポは大きめの文字で簡潔にまとめて書いた。
- ・模造紙に相関図を書いた。
- ・質問をみんなに問いかけた。
- ・発表者からの当て方を工夫した。
- ・深く深く考えて答えをだし、周りの人がわかりやすいように説明を作るところを工夫した。
- ・予鈴のチャイムが鳴る前に準備しておくこと。
- ・教科書に重要な文を線引きしてわかりやすくプリントにまとめた。
- ・グループのみんなで分担しパワポを作ることを心がけた。
- ・長い文を何度も読み、読んでも理解できなかったところはメンバーと共に考えました。
- ・心の解説がみんなに伝わるように人間関係の図を三角関係のようにして工夫した。
- ・パワポとかを見やすくした。自分の意見も踏まえて説明を分かりやすくした。
- ・言葉や文でややこしくならないように図で説明したこと。

事前の準備も含めて授業を行う上で難しかったところはどこですか。

- ・自分の意見と班全員の意見の中で食い違いがあるのでまとめるのがとても難しかったです。

- ・登場人物の気持ちのくみとり。
 - ・**比喩表現が多く使われていた**ため、それを分かりやすく表すのが難しかった。
 - ・自分がしたいようにするだけではなく、自分達がどうやった方がやりやすいか、授業を受ける生徒側から見てどうしたらより正確に伝わるかなど**色々な人の気持ちになっ****て考える**のが大変だと思いました。
 - ・班のみんなとまとめる作業が一番難しかったです。
 - ・みんなが聞き入るような授業をしたかったのですが、難しく、**先生方の凄さ**がよく理解できました。
- 深堀していくことが難しかった。
- ・これじゃない？と思っても違っていたり、友達と意見が合わなかったりして、**友達の意見と自分の意見をまとめる**こともあったので、そこが難しかった。
 - ・授業の準備をするのも授業をするのも難しかった。**先生の偉大さ**を感じた。
 - ・聞いている人に伝わるようにする方法を考える事。
 - ・答えがないので**色々な考えが出てきて**その出てきた考えをひとつに絞るのが難しかった。
 - ・**根拠を考える**のが難しかった。

次に生徒授業を行うとしたら、どのようにしたいですか。事前準備も含め、改善点等答えてください。

- ・もっと班のみんなと協力する。
- ・一人一人が意見を出し合って、**役割分担**をすることが大事だと思いました。
- ・自分の担当の部分だけでなく、早めに**全体を通して読ん****でおくべき**だった。
- ・同じ問いの班があると、考え方や考察など被ってしまうとあまり面白くないので、**どこの班も被らず**、発表で全員がその問いについて授業出来るように改善して欲しいと思った。
- ・**聞く側の人のことを考えずに自分のペースで**パワポを進めて話してしまったから相手のことを考えて発表できるようにしたい。
- ・**授業の時間外にも少し取り組んでいたら**もっと早く作業は進んでいたし、もっと良い発表ができたと思いました。
- ・しっかり事前準備をおこなうればもっと良い生徒授業ができたと思う。
- ・**やり始めるエンジン**がかかるのが遅かった。改善点は思い立ったらすぐ行動することです
- ・表を作っているところがいたので、表を取り入れたらもっと分かりやすかったんじゃないかな？と思った。
- ・深いところまでしたつもりだったけど、**他のグループは****もっと深堀り**していたので、もっともっと深堀りしていきたいと思う。

5. 生徒授業を通して「自分とむきあう」「人とむきあう」

先生役を経験して感じたことを付箋に書いたものを2階渡り廊下に掲示していますので見てください。



6. 鳴門教育大学教職員大学 住瀬先生よりメッセージ

皆さん、こんにちは。鳴門教育大学教職大学院数学科教育コースの住瀬悦子と申します。昨年度まで小松島高校で数学科の教員として、松高にいたので2, 3年生の人は知ってくれている人もいますが、知らない人や1年生の皆さん、はじめまして。私は**素直で明るく一生懸命な松高生**が大好きです。一人ひとりが自分の将来を考え、内に秘めた能力をもっと発揮させるために何が必要なのか、自分はどんな支援ができるのか、数学教育の立場から研究しています。11月18日(金)に小松島中学校での生徒授業を参観させていただきました。初対面の中학생の前で堂々と説明したり、クラス全体に気を配ったり、授業の準備もばっちりできていて、とてもよかったです。「自分の物語」の1ページがまた増えましたね。私はみなさんに、生徒授業にも日々の学びにも**「目的」**を持ってほしいと思います。**伝えたい「目的」があれば、相手に伝えるにはどのようにすればいいか、自分にどんな工夫ができるか、学びに「深さ」がでてくる**と考えています。4月からまた小松島高校でお世話になる予定です。考えている授業は**数学の「問題づくり」**です。問題づくりを通して、みなさんと深い学びの実現ができれば、と考えています。よろしくお祈りします！追伸 「先生が大学院通ってどんなことするのか？」って思った人はこちらをチェックしてみてください。↓

いくつになっても学びっておもしろい！

